

**令和2年度(2020年度)  
家庭教育支援功労者表彰  
受賞者**

名前 甲斐 高子  
役職 宇城市地域学校協働活動推進員



## (主な活動実績)

平成27年から現在までの5年間、不知火小学校を拠点として、学校と連携をとりながら、子供たちのより深い学びのために、地域人材の発掘や連絡調整役を担っていただいている。

丸付けボランティアや、田植え、稲刈りなど多様な活動に自らも積極的に取り組み、学校・家庭・地域をつなぐ橋渡し役として、宇城市の地域学校協働活動の推進に尽力されている。



名前 長尾 忠  
役職 放課後子供教室コーディネーター



## (主な活動実績)

平成20年4月から、網田放課後子供教室コーディネーターを務められ、スタッフの中心的存在として企画・運営等に携わり、子供たちの居場所づくりに貢献されている。子供たちに体験させたいこと等、積極的に意見を出され、様々な体験活動を実施されている。

またその他にも、宇土市地域学校協働活動推進員や、宇土市子ども会連絡協議会役員等も務められ、様々な分野で地域や学校、子供たちのために尽力されている。



名前 坂田 裕紀  
役職 玉東町地域人権教育指導員



## (主な活動実績)

平成28年度から現在まで、山北小学校、玉東中学校における「親の学び」講座での進行役を務め、家庭教育の充実、発展のために尽力されている。

また、山北小学校放課後子供教室コーディネーターとしても放課後における子供の居場所づくりと様々な体験活動を企画・提供し、子供の育ちをサポートする環境づくりに尽力されている。



名前 碓 栄子

役職 放課後子供教室コーディネーター



## (主な活動実績)

平成21年度から現在まで木葉小学校放課後子供教室コーディネーターとして活動され、放課後における子供の居場所づくりと様々な体験活動を企画・提供し、子供の育ちをサポートする環境づくりに尽力されている。

また、地域学校協働本部コーディネーターとしても地域、学校、家庭が連携した地域全体での教育支援の充実に尽力されている。



名前 森上 恭子

役職 くまもと「親の学び」プログラムトレーナー



## (主な活動実績)

平成24年「くまもと『親の学び』プログラムトレーナー」となり、「くまもと『親の学び』プログラム」を活用した講座を定期的に務め、地域における家庭教育の充実・発展のために尽力されている。進行役養成講座では教育事務所や菊池市教育委員会、トレーナー達と企画から運営まで行い、話し合いにより参加し易いプログラムを作り上げ、明快に進行役も務められた。

また、菊池北小学校の学童クラブにおいては、子供たちに対する家庭・学校の相互の関係の再構築に貢献され、令和元年からは地域学校協働活動推進員として活躍されている。



名前 田中 明子

役職 益城町地域学校協働活動推進員(家庭教育支援担当)

嘉島町地域学校協働活動統括推進員および推進員



## (主な活動実績)

平成28年から上益城管内における「くまもと『親の学び』プログラム」トレーナーとして、積極的に保護者や団体への助言・指導を行うとともに進行役養成講座における後進の育成に意欲的に努められている。

また、管内における「くまもと家庭教育支援チーム」の普及啓発及びくまもと「親の学び」プログラム推進園への登録、促進活動を行い、上益城管内における家庭教育の充実・発展のために尽力されている。



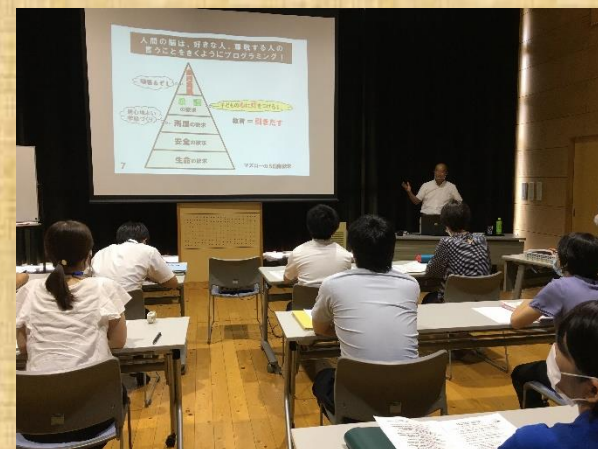
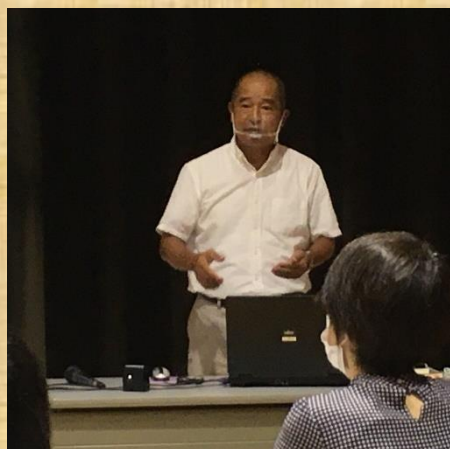
名前 野田 幸孝  
役職 元熊本市立小中学校長



## (主な活動実績)

平成26年4月から、約6年間にわたり熊本市教育委員会主催「家庭教育セミナー」の講師として、就学時健康診断時や入学説明会時等にあわせ、子供の発達段階に応じた子育てや親としての心構え等に関する講演に尽力された。

また、校長時代も多数の小中学校において、PTA研修や教職員研修の講師として、広く家庭教育の推進に向けて貢献された。





名前 長濱 聡  
役職 心道塾 塾長



## (主な活動実績)

- ・カトリック八代教会において、平成27年11月より、県の「地域の学習教室」の学習支援員として、毎年10名前後のひとり親家庭の小・中学生の学習支援に尽力されている。
- ・学力を伸ばすと同時に、子供たちの話し相手になることの重要性を認識され、社会は決して冷たいだけではなく、心にかけて、手を差し伸べる人も多いのだと、子供たちが実感できるようになることが、生きる希望や力となるという信念で、学びの場と居場所を提供されている。



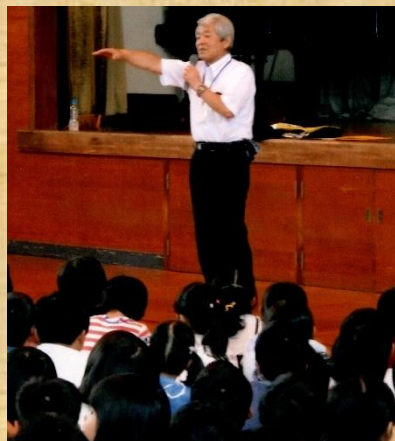
名前 竹下 興治  
役職 元熊本県警察スクールサポーター



## (主な活動実績)

大津警察署管内において、平成22年4月から令和2年3月までの10年間、学校訪問・家庭訪問による非行少年・保護者への助言指導、児童生徒への非行防止教室等を実施し、家庭教育の支援に尽力された。

特に、10年間で410回実施した児童生徒・保護者・教職員に対する非行防止教室、不審者対応訓練等は、長年の経験に裏打ちされた説得力のある内容で好評を得るなど、多大な功労があった。



名前 高宮 正行  
役職 少年サポーター



## (主な活動実績)

平成20年4月から現在までの12年余り、非行少年や保護者等が参加する農業、乗馬等の社会参加活動にボランティアとして継続参加し、少年への声かけや見守り、保護者へのアドバイスを行うなど、家庭教育の支援に尽力されている。

特に、平成30年からは、社会参加活動の一環として、自身が企画・運営する地域の子供や保護者が参加する行事に、警察が支援する少年を招待し当該少年の立ち直りに寄与するなど、多大な功労があった。



名前 石橋 孝  
役職 熊本県警察スクールサポーター



## (主な活動実績)

熊本東警察署・熊本南警察署管内において、平成24年4月から現在までの8年余り、学校訪問・家庭訪問による非行少年・保護者への助言指導、児童生徒への非行防止教室等を実施し、家庭教育の支援に尽力されている。

特に、児童生徒の問題行動について、学校との連携を積極的に図り、昨年度までの8年間で、児童生徒・保護者・教職員に対する助言指導を約4,500回実施するなど、多大な功労があった。



名前 原 恒治  
役職 少年サポーター



## (主な活動実績)

平成20年4月から現在までの12年余り、非行少年や保護者等が参加する農業、陶芸等の社会参加活動にボランティアとして継続参加し、少年への声かけや見守り、保護者へのアドバイスを行うなど、家庭教育の支援に尽力されている。

特に、少年への優しいまなざしや保護者への親身な姿勢は、社会参加活動の温かい雰囲気づくりに貢献するほか、家出等を繰り返す男子中学生への個別支援に携わるなど、多大な功労があった。



**令和2年度(2020年度)  
家庭教育支援優良団体表彰  
受賞団体**

団体名 合志市中央公民館  
館長 池田 一也



## (主な活動実績)

○合志市として独自の親の学べる機会や親同士のつながりを増やすために、平成29年度から「親の学び」プログラム公民館進行役養成講座を実施し、毎年、ファシリテーターを育て、新入学児童・生徒の保護者800名程度を対象に普及・促進を図っている。

○人権尊重の視点を基盤に、プログラムの内容や価値、目的を共有し、ファシリテーターのアイデアや持ち味を生かしながら、内容構成を考え、学びの深い講座になっている。

○写真は、平成29年度「くまもと『親の学び』プログラム進行役養成講座in合志市」のトレーナーとしての実践の様子で、目配りや気配りが上手になり、意識の高まりが見られた。



団体名 八代市立植柳幼稚園 家庭教育学級  
園長 上村 日実子



## (主な活動実績)

- 地域に残る伝統文化継承のため、植柳盆踊り保存会の方たちを講師に迎えて練習を定期的に行い、地域との交流や家庭教育支援を中心としたネットワークづくりに尽力している。  
平成21年度から令和元年度まで(11年間、今年度も開催予定)
- 家庭教育の基本であり、地域における家庭教育支援の一環として、あいさつ運動を月1回実施し、保護者間と親子の親睦を深めている。  
平成22年6月から令和元年2月(10年間、今年度も実施中)
- 県や市が実施する研修やイベント等に積極的に参加している。また「くまもと『親の学び』プログラム」を活用した家庭教育講座を年に5~6回程度、定期的に行っている。  
平成21年度から令和元年度(11年間、今年度も実施予定)
- 八代市で実施している「まなびフェスタやつしろ」(八代市生涯学習推進大会)で家庭教育学級の活動報告を行った。  
平成30年12月





団体名 水俣市立水俣第二小学校  
校長 黒木 博寿



## (主な活動実績)

平成29年4月から「くまもと『親の学び』プログラム」の実践力を高めるため、校内研修時に講師を招いて講習会を行っている。また、学級懇談会時に各学級で必ず「くまもと『親の学び』プログラム」講座を実施し、保護者同士の人間関係づくりを行っている（年間30講座以上）。

平成29年度4月から「くまもと家庭教育支援チーム」として、PTA総会や地区懇談会時に「くまもと家庭教育支援条例」等の資料を活用し、広報活動を行っている。





団体名 社会福祉法人志友会  
くまもと芦北療育医療センター  
センター長 木村 昭彦



## (主な活動実績)

平成15年度から18年間、熊本県立芦北支援学校に通学する医療的ケアが必要な児童生徒のために、芦北支援学校へ看護師を派遣。

看護師の派遣により、医療的ケアが必要な児童生徒が安全で安心できる学習環境の整備と、保護者の介護負担の軽減が図られている。

看護師が、児童生徒の心に寄り添うことで、児童生徒は安心して医療的ケアを受けることができるとともに、教育活動の充実につながっている。



団体名 独立行政法人国立病院機構  
熊本再春医療センター  
院長 上山 秀嗣



## (主な活動実績)

平成16年度から17年間、熊本県立黒石原支援学校に通学する医療的ケアが必要な児童生徒のために、黒石原支援学校へ看護師を派遣。

看護師の派遣により、医療的ケアが必要な児童生徒が安全で安心できる学習環境の整備と、保護者の介護負担の軽減が図られている。

看護師が、児童生徒の心に寄り添うことで、児童生徒は安心して医療的ケアを受けることができるとともに、教育活動の充実につながっている。



# 被表彰者の皆様

受賞おめでとうございます。  
今後とも、本県及び各地域の家庭教育  
教育をご支援いただきますよう  
よろしくお願ひします。

